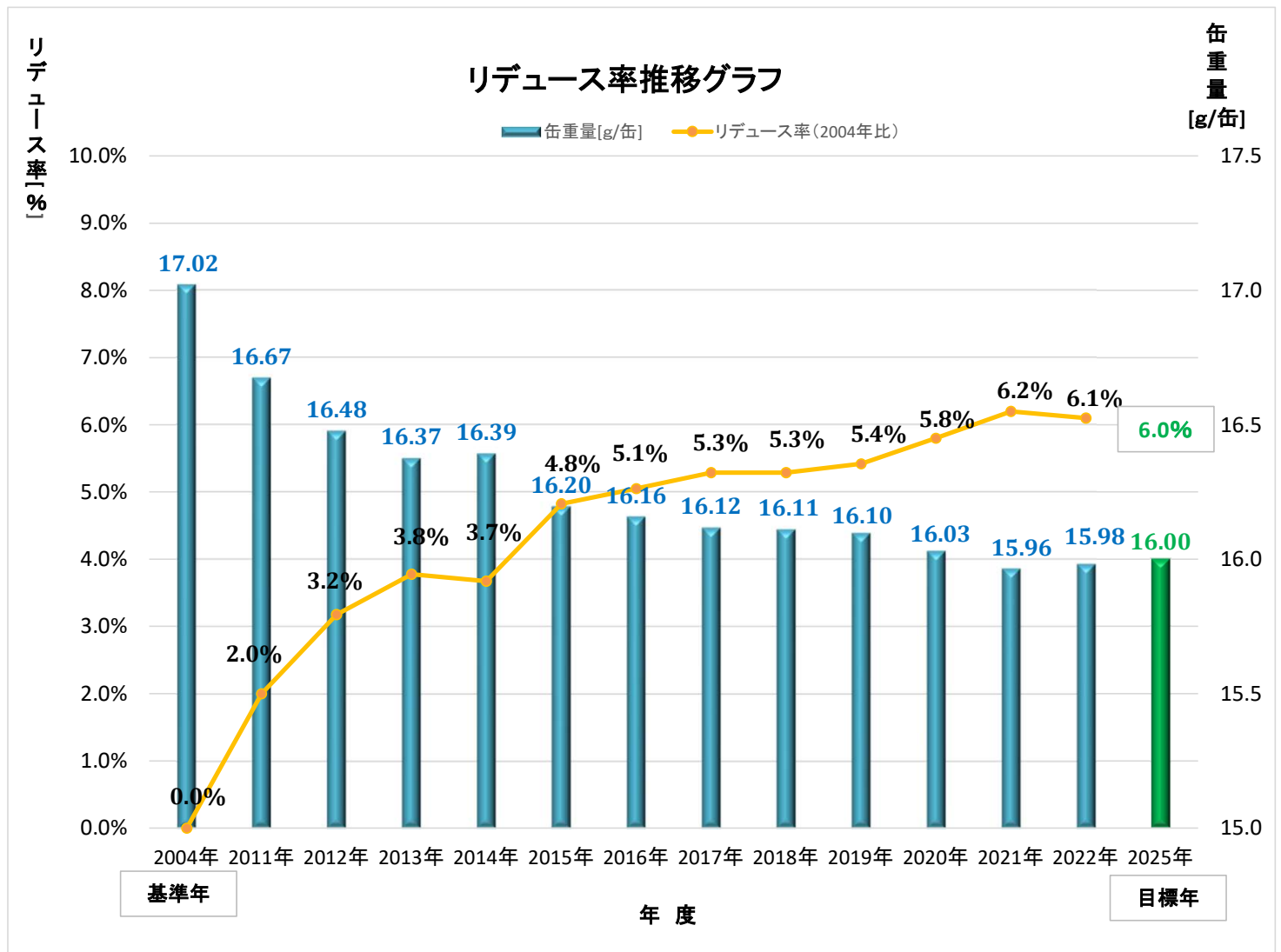


2022年 飲料用アルミ缶リデュース実績

3R推進活動の一環として、リデュースは2025年に2004年比6.0%以上の軽量化を目指し取り組んでいます。昨年は後半から新型コロナによる行動制限が緩和されて徐々に酒類の外飲機会が増え、缶重量の軽いアルコール缶の家飲み需要が減少し、一方で清涼飲料缶、中でも缶重量の重いボトル缶が増加したためにこの構成変動からリデュース率は2021年に比べて0.1ポイント低下して6.1%となりましたが、目標の2004年比6.0%以上の軽量化は2年連続で達成されました。

2022年の業界での軽量化への取り組み成果としてはボトル缶の軽量化が進んだことがあげられますが、ボトル缶は量的にアルミ缶全体の1割強を占めるに留まっており、軽量化効果は構成変動に打ち消された結果となりました。

尚、ビール類向け缶の軽量化への取り組みは粛々と進められており、引き続き関連業界が連携して取り組みを継続してまいります。



以上